



## 便利な登山届「コンパス EXPERT」・「コンパス」 愛知・三重県でも使えるようになりました！

いよいよ春山のシーズン。最近、手軽に自然に親しめる低山の登山者が急増し、愛知県の山でも道迷い遭難などが多発しており、死亡・重症事故も少なくありません。遭難防止で最も大切なのは、「命のあるうちに発見してもらうこと」。そのためには日帰り低山でも、①登山計画書を作成して、②家族などに渡し、③登山届として警察・山岳会に提出することが大切です。

この①②③が同時にでき、直前でも計画変更可能と大変便利なのが、スマホのアプリ「コンパス EXPERT」と、パソコン利用の「コンパス」(いずれも無料)です。岐阜県、長野県など主要な山岳地帯の道府県に引き続き、昨年三重県警、愛知県警でも閲覧協定が締結され、遭難対策に活用されるようになりました。その使い方をご説明します。

### 1. 「登山計画書の提出＝登山届」がどうして日帰り・低山登山でも大切なのか？

- ①「登山計画書」には、登山者の氏名、年齢、緊急連絡先、登山の行程、携行する装備と食糧等の量などを記入します。登山計画書の作成は、ルート、危険箇所、装備の漏れなどの確認機会ともなります。
- ②遭難した場合、まず家族などが警察に問い合わせ、遭難捜索が開始される場合がほとんどですから、「登山計画書を家族などに渡す」ことが、実は最も重要です。
- ③登山計画書を関係先へ提出すること、すなわち「登山届」は、登山者を検索する手がかりになるだけでなく、入山者から目撃情報など捜索に有効な情報を得るための助けになります。

**最近多発し、死亡事例もある低山での遭難事故は、道迷いによるものが最も多く、②③がやってあれば、早期発見・救出できたはずのケースがほとんどです。**

従来、高山のない愛知県では、登山届は、「郵送または FAX で提出」を求めており、あまり提出されていない実情でした。しかし、低山遭難のリスクが高まり、「コンパス EXPERT」「コンパス」でスマートフォンやパソコンから届け出ができるようになったのです。

### 2. 登山届の提出先とその効果は？

**登山計画は、家族などと警察両方に渡して初めて機能するもので、両方に出すのが鉄則です。**  
所属山岳会に提出するとさらに心強く、東海支部では登山届の提出を求めています。

提出先	効果
警察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遭難や行方不明時の初動捜索が容易になり、救出が行いやすくなる。</li> <li>・ただし、登山届(下山届)を受理しても、提出者が無事に下山したかどうかの把握は行っていない。</li> <li>・火山や北アルプスなどでは、条例で提出が義務付けられている。</li> </ul>
家族など	<p><b>・警察の遭難捜索は、家族などからの通報があって初めて開始される。</b> <b>そのため、登山計画書は警察だけでなく家族などにも渡しておくことが重要。</b></p> <p>⇒警察に登山届を出しても下山したかの把握はしない。そのため、家族などに行き先を告げずに登山に行くと、万一遭難した時に、「どの山に登ったのか家族なども警察も知らない」状態になり、捜索しようがなく、救出できない恐れがある。</p>
所属山岳会 (東海支部の場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山届を受理しても、提出者が無事に下山したかどうかの把握は原則行っていない。</li> <li>・家族などから下山しないとの連絡をもらえば、情報提供、捜索応援など有効なサポートができる。</li> </ul>

参考：愛知県警HP <https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/sounan/tozan.html>  
コンパスHP (愛知県警のお知らせ：愛知県で発生する山岳遭難の特徴)  
<https://www.mt-compass.com/aichi.php>

### 3.「コンパス EXPERT」「コンパス」について

「コンパス EXPERT」「コンパス」は、公益社団法人日本山岳ガイド協会が遭難防止対策のために運営する登山届のシステムです。スマートフォンのアプリが「コンパス EXPERT」、パソコン利用が「コンパス」で、どちらも簡単に登山計画の作成および登山届の提出ができます。登山開始、下山報告をスマホで送信でき、本人からの下山報告がない時は家族など指定先に、報告がない旨メールを自動送信してくれる「コンパス EXPERT」が、低山登山の安全確保には有効なので、特にお勧めします。

提携した行政や警察と情報が共有化されることが強みで、基本無料です(有料オプションあり)。

**「コンパス EXPERT」:** [https://www.mt-compass.com/ex\\_info.php](https://www.mt-compass.com/ex_info.php)

**「コンパス」:** <https://www.mt-compass.com/>

#### (1)操作方法の概要 (ここでは、「コンパス EXPERT」について紹介。詳しくは上記 HP 参照)

1.登山計画作成	<p>※スマホから入力し、簡単に作成 (慣れれば数分)</p> <p>⇒画面の地図をなぞるだけで、ルート作成でき、距離やコースタイムが算出可能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡先などは、1度入力すると再利用可能</li> <li>・グループ登山の場合、メンバーで計画の共有が可能</li> </ul>
2.登山届の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記計画が緊急連絡先(家族など・所属山岳会等複数可)に送られる</li> <li>・協定した自治体や警察が閲覧可能となる</li> <li>・上記協定の締結された都道府県では、コンパス登録をもって登山届とできる</li> </ul>
3.登山開始連絡 ～登山中 (3はスキップも可能)	<p>①スマホをタップして登山開始を連絡</p> <p>②スマホに計画ルートをダウンロードしておけば、GPS アプリと同様、軌跡を表示</p> <p>③登山中の位置情報を緊急連絡先と共有可能(有料サービス)</p> <p>④火山の噴火情報などが受信可能</p> <p>⇒②は電池消費を抑える機内モードで利用可能だが、①③④は機内モードでは利用不可</p> <p>※3はスキップも可能(登山届に下山時刻の入力があれば、下山連絡ない時は5へ)</p>
4.下山連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホの画面をタップ →緊急連絡先に下山メールが送信される</li> </ul>
5.下山しないとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下山届未提出の情報が緊急連絡先および本人に送られ、下山なしが早期に把握できる</li> <li>これを受けた緊急連絡先が、警察に救助要請する</li> <li>・緊急連絡先に山岳会も入れれば、家族など連絡不能の時なども初動対応ができる</li> <li>・連携自治体・警察と情報共有がされ、迅速な捜査が開始される</li> </ul>

#### (2)利用上の注意点

- ①必ず、緊急連絡先に東海支部だけでなく家族なども入れる
- ②登山計画は事前に登録  
⇒計画をあらかじめ把握してもらうため事前に登録する(雨天順延・中止など内容変更が可能)。
- ③「登山開始」連絡は通話圏外になる前に  
⇒登山口は通話圏外の場合も多いので圏外になる前に。  
計画の下山時刻を過ぎたら緊急連絡先にメール送信される。
- ④日帰りでも予備バッテリーの携帯を忘れずに  
⇒上記(1)、3、②の GPS 機能は省エネとなる機内モードで可能だが、道迷い時などは、位置情報を警察側に把握してもらうには、通話モードにしておく必要があるため。
- ⑤登山計画を簡略化するためのアプリではない  
⇒登山計画の作成は、ルートの確認、危険個所の把握、装備の漏れの確認などといった目的もある。  
アプリ利用時も、これらをおろそかにしないように注意。

以上